
再び飛び立つ運命の翼

マグネス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

再び飛び立つ運命の翼

【Nコード】

N73380

【作者名】

マグネス

【あらすじ】

オーブとザフトが同盟を結んでからはや数ヶ月…。

世界は再び、戦火に包まれる。

世界に再び平和を齎すため、舞い上がれ、デスティニー！

PHASE 01 運命の翼（前書き）

どうも、作者です。

この作品は番外編であつた、選ばれた未来の続編です。

見苦しいところが多々あると思いますが、読んでいただければ幸いです。

PHASE 01 運命の翼

「いくら吹き飛ばされても…僕達はまた、花を植えるよ」

「それが、俺達の戦いだな……」

あの出来事から数ヶ月後、ザフト軍の兵士であるシン・アスカは同盟を結んだオーブに使者として遣わされていた。恋仲である同僚、ルナマリア・ホークと一緒に。

「そつえば、アスランと会うのもあの日以来だな…」

自分の記憶では、あの慰霊碑の前で会い、その後のオーブとザフトの会談で会って以来一度も会っていない。

「うん、本当に久しぶりよね……」

その言葉に苦笑し、オーブ代表であるカガリ・ユラ・アスハのいる部屋のドアを開ける。

そこには、“フリーダム”のパイロット、キラ・ヤマトと“ジャステイス”のパイロット、アスラン・ザラの両雄とカガリが居た。

「お久しぶりです、…アスラン。今日はラクス様からの命令で書類をお渡しするように遣わされてきました」

敬礼をし、脇に抱えていた書類を渡す。

どうやら、キラは別件で来ていたようだ。

「ああ、遠いところからご苦労だったな…。今日は部屋を用意する

からゆっくり休め」

少し上から目線だが、以前と変わらないアスラン。
それが彼の接し方なので気にならない。

それから少し世間話をしていると、カガリに通信が入った。
現ザフト軍議長、ラクス・クラインからの通信だ。

「なにっ！？プラントが…！？」

その言葉を聞き、反射的に机に近づいた。

『はい、プラントが何者かに襲撃されました。私達はエターナルで
移動中でしたので問題ありませんが…襲撃者のMSモビルスーツと思わしき映像
を確認したので転送します』

そしてカガリがホログラムを出すと、映像が流れ出した。

「これは…、“レジェンド”！？」

この機体に、その場にいる全員が驚いた。

グレーを基調としたカラーリングに、円盤型のユニットに搭載され
たドラグーンシステム。

先の大戦で、“レイ・ザ・バレル”が乗っていた最新鋭の機体だっ
た。

『ザフトのメカニックにスパイがいたようです、迂闊でした……デ
ュランダル議長の残していた“レジェンド”の設計図が流出したよ
うです……』

全員が言葉を失い、固まっている。
せつかく、オーブとも同盟を結び、平和になっていくはずだったの
に……！

「コイツらが花を吹き飛ばすなら、また花を植える……。それが、俺
達の戦いだ！」

シンがそう叫ぶと、その場にいた全員が頷く。
カガリも一瞬驚いていたが、鋭い顔つきになる。

「よし、シンにアスランとキラ、ルナマリアも来てくれ」

指示された通りに、カガリについていく。
連れて行かれたのは、ハンガー。

そこには、“デスティニー”、“フリーダム”と“ジャステ
イス”、“インパルス”が收容されていた。シンは驚いてアスラン
とキラを見るがやはりと言った顔をしている。

壊れたはずの“デスティニー”と“インパルス”、何故それがオー
ブにあるのだろうか。

「もしもの時のために、アスランが頼んでいたんだ。シン君とルナ
マリアさんの機体を修理、回収しておいてくれて」

敵対していた自分達のことをそこまで気遣ってくれていたのか。
でもそれは、力がなく眺めることしか出来ない苦しみを知っている
アスランだからこそその優しさだろう。

「行こう、宇宙^{そら}へ。あの機体と、襲撃してきた軍を止めなきゃ」

キラのその言葉に、皆力強く頷く。

「ここから暫くした所に、アークエンジェルがいる。ラミアス艦長とフラガ少佐もだ。そこに言って状況を知らせたら“マス・ドライバー”と使ってくれ。お前ら…頼んだぞ！」

カガリのその言葉を聞きながら、アスランが“ジャステイス”に搭乗する。

キラも“フリーダム”に乗り込んだので、シンも“デスティニー”、ルナマリアも“インパルス”に搭乗する。すると、ハンガーの屋根が開いた。

「キラ・ヤマト、フリーダム…行きます！」

ブーストを発動し、一気に遙か上空まで飛び上がる。

「アスラン・ザラ、ジャステイス…発進する！」

“ジャステイス”も同じように飛び上がり、上空で待機している。

「ルナマリア・ホーク、インパルス…行くわよ！」

ルナマリアもそれに倣い、飛び上がる。

（マユ、今の俺の姿を見たらどう思う？笑うよな、また剣を取って戦うんだから…。でも俺は…自分の戦いを貫く！あの日誓った戦いを……！）

「シン・アスカ、デステイニー…行きます!」

羽を広げ、ウイングを10枚全て展開しながら飛び立つ。
目指すはアークエンジェル、そして…宇宙^{そら}

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7338o/>

再び飛び立つ運命の翼

2010年11月6日01時32分発行